

# 地域貢献・社会貢献

## 基本的な考え方

当社グループは、古くからその事業の遂行において、従業員やその家族の生活基盤を確保するだけでなく、医療、教育、文化など幅広い分野のインフラを整備して、地域の人々に開放するとともに地域環境に配慮した事業活動を実践してきました。現在も、SMMグループ経営理念、SMM

グループ経営ビジョン、CSR方針に基づき、地域社会に配慮した事業活動を行なっています。各種プロジェクトの意思決定に際し、SMMグループの方針・理念に反することのないよう、各種会議体を通して十分な検討を行なっています。

## 地元経済への影響

### 現地調達

当社グループは、操業地域周辺からの「調達」を地元経済に貢献できる活動の一つと考えています。操業地域における調達にあたっては、関係法令を遵守し、公正かつ自由な競争のもと、相互の発展に資することが重要であると認識しています。

当社の主要事業拠点であり、当社事業を支え、ともに発展してきた新居浜地区をはじめ、当社グループの事業を展開しているほかの地域でも調達活動を通じて、地元の発展に寄与しています。

2016年度の新居浜地区における地元サプライヤーへの支出割合は、51% (93億円) でした。ポゴ金鉱山での資機材調達先はアラスカ州内の237社に及び、調達総額のうち42% (7,270万ドル) に上ります。また、フィリピンにおいては国内のサプライヤーに対する支出割合は48% (約1億3,100万ドル) でした。

### 現地雇用

当社グループでは、操業地域周辺から従業員を採用することは、周辺地域社会への直接的な経済的貢献にとどまらず、人材育成や安定した雇用機会の提供を通じて地域の活性化に寄与すると認識しています。また、地域住民の方々に当社グループの事業活動の内容をご理解いただくこと、また地域の課題を当社グループが理解するといった相互理解を深めるうえでも有効であると考えていることから、積極的に現地採用を進めています。

採用にあたっては、海外地域固有の法令などを遵守しながら、現地拠点ごとにプロセスを明確にしています。また、昇進を含めた評価に関しても公正に運用をしています。

これらの状況に関しては、全グループ会社に対し定期的にアンケートを実施することで確認をしています。

ポゴ金鉱山では、地元アラスカ州からの採用に努め、従業員約300名のうち66%がアラスカ州に居住しています。また、フィリピンのCBNCでは、地元パタラサ郡からの採用に努め、その割合は59%です。同国のTHPALでも、地元クラベール市からの採用に努め、その割合は43%です。

海外現地採用における上級管理職数  
(部長クラス以上) (2017年3月末) (単位：人)

会社名 (国・地域)	人数	
	男性	女性
Sumitomo Metal Mining Chile LTDA. (チリ)	2	0
Sumitomo Metal Mining do Brasil LTDA. (ブラジル)	1	1
Sumitomo Metal Mining Peru S.A. (ペルー)	2	0
Sumitomo Metal Mining Philippine Holdings Corporation (フィリピン)	5	1
Coral Bay Nickel Corporation (フィリピン)	1	0
Malaysian SH Precision Sdn. Bhd. (マレーシア)	3	3
韓国住鉱株式会社 (韓国)	1	0
住友金属鉱山管理 (上海) 有限公司 (中国)	1	0
蘇州住立精工有限公司 (中国)	1	1
上海住鉱電子漿料有限公司 (中国)	4	0
合計	21	6

## 閉山計画

当社グループでは、鉱山の閉山処理については、鉱山の開発時に、採掘後の環境影響を極小化することに配慮しています。実際に鉱山を閉山する際には、SMMグループ経営理念や法令などにのっとり、適切に行なっています。当社が50%を超える権益を持つ鉱山に関しては、閉山が近づいた段階で適宜計画を作成し、各国の法律に従って閉鎖・管理を行なっています。

環境側面に関しては、菱刈鉱山の捨石(ずり)集積場では、のり面整形後に必要に応じて土で覆い、種子吹き付けを行ない緑化することになっています。また、この費用は法律に基づき、鉱害防止積立金として積み立てを行なっています。ポゴ金鉱山では、米国アラスカ州の法律により、鉱山施設をすべて撤去した後、跡地を覆土・緑化することが定められており、閉山後の復旧工事の内容や作業量、水質の

モニタリング項目、開発した土地の復旧・緑化の費用が決められています。

また、雇用面に関しては、国内では別子銅山など閉山した鉱山で働いていた当社グループの従業員に対して、ほかの事業場への異動や、転職支援を行なってきました。

### 製錬所の閉鎖処理計画

鉱山の閉山のみならずフィリピンではCBNCにおける製錬所または鉱物処理加工プラントも閉鎖処理計画の提出が義務づけられ、事業場閉鎖に必要な資金の積み立ても義務づけられています。CBNCがDENR<sup>\*1</sup>に提出した閉鎖計画に要する費用の総額約1億1,000万ペソは、2012年から8年間かけ、毎年積み立てられます。

一方、事業所閉鎖後においても住民の方々の生計(農業、漁業など)が成り立つための支援をSDMP<sup>\*2</sup>を通じて実施しています。THPALの閉鎖計画に要する費用の総額約1億2,000万ペソは、2016年から11年間かけ、毎年積み立てられます。

<sup>\*1</sup> DENR (Department of Environment and Natural Resources): 環境天然資源省。  
<sup>\*2</sup> SDMP (Social Development Management Program): 社会開発マネジメントプログラム。事業活動地域の住民の福祉のために企業がなう社会開発プログラム。

### 鉱山閉鎖に関する積立金額

鉱山名	積立金名	積立額 (2016年)
菱刈鉱山	鉱害防止積立金	2,180万円
ポゴ金鉱山	Reclamation Bond	5,710万USドル*

\*プロジェクト全体としての積立金額。  
実際の費用の発生時には、権益比率により費用負担を各社で分担する。

## 社会貢献活動

当社グループは、2020年における当社のありたい姿である「事業および地域に根差した社会貢献活動を通じて、地域の発展に貢献し信頼を得る企業」に向けて、事業立地

地域との対話の中から当社グループが取り組むべき社会課題を抽出し、その課題解決のための社会貢献活動を行なっています。

### 2016年度の主な社会貢献活動実績

#### 事業地域での社会基盤整備事業など

- ・フィリピン国内でのインフラ整備、学校、病院などの建設と運営支援など
- ・海外事業地域での奨学金寄付

#### 文化学術支援

- ・愛知県美術館主催「黄金伝説展」への特別協賛
- ・医療団体やスポーツ団体などへの支援寄付、世界遺産保全支援など

#### 自然保護

- ・経団連自然保護基金への寄付

#### 災害被災地支援

- ・台風10号豪雨災害への寄付
- ・熊本地震災害への寄付
- ・フィリピン共和国における地震災害への寄付
- ・東日本大震災による遺児・孤児の育英基金寄付
- ・福島県楢葉町における新規電池材料生産拠点立ち上げと雇用創出